
第1章 幼い才能

Happy AandS

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

第1章 幼い才能

【コード】

N95220

【作者名】

Happy Aands

【あらすじ】

飾が成長して行く姿。

海に見える小さな家

私はその家の長女として生まれた。

名前は、かみたに神谷 かざり飾

お父さんが、名前を付けたと聞いた。

私は、順調に成長して小学4年生になった。

ある夏休み、工作にこれを作ってみたらと

渡された小さなビーズキット。

私は、嬉しくなって一生懸命に作り始めた。

作る事にとっても興味のあった私は、

すぐにビーズキットのすべての作品を作りあげてしまった。

お母さんはビックリしていた。

「また、新しいキット買ってくるからね」

「うん、早く新しいの作ってみたい」

夏休みの工作は、作った作品を出すことになった。

夏休みも終わり、学校には仲の良い友達がいなかった。

寂しそうに家に帰る。

「ただいま」

「おかえり」

玄関を上がり勉強机に向かう。

勉強机の上に新しいビーズキットが置いてあった。

嬉しくなった。

「お母さん、ありがとう」

勉強机の前から叫んだ。

返事は、返ってこなかった。

少しして、お母さんが勉強机に来た。

嬉しそうな飾の顔を見て、

「勉強も、ちゃんとしなさいね」

と言って、またキッチンへ戻っていった。

勉強机のイスに座り、新しいビーズキットを

作り始める。

猫、蛙、犬、熊、イルカ、ペンギン、花。

家に帰る道が、楽しくなった。

学校が、終わるとすぐに家に帰るようになる。

勉強も、ちゃんとした。

楽しい時間は、学校生活をすぐに終わりで

加速させた。

小学校を卒業して中学校へ行くようになる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9522o/>

第1章 幼い才能

2010年11月16日20時23分発行